



JTUC-aomori

No.374 2021年3月10日

れんごろう 青森

発行 日本労働組合総連合会
青森県連合会(連合青森)
発行人 山内裕幸 編集人 堤 史子
青森市本町3丁目3の11
青森県労働福祉会館内
TEL (017)735-0551
FAX (017)735-0553
URL <http://aomori.jtuc-rengo.jp/>
月1回発行 1部10円
(組合員の購読料は会費の中に含む)

「賃上げ」と「安心・安全に働き続けられる環境整備」実現へ!

連合青森2021春季生活闘争総決起集会



連合青森は3月6日(土)10時30分より、青森市のリンクステーションホール青森で、「2021春季生活闘争総決起集会」を開催した。組合員200名が結集し、「賃金の引上げ」や「誰もが安心・安全に働ける環境整備」の実現に向け、氣勢を上げた。

主催者あいさつに立った塩谷進会長は「今、私たちに求められていることは、これまでの賃上げの流れを継続する中で、分配構造へとつながり得る賃上げと安心・安全に働き続けられる環境づくり。何よりもこの20年の賃金低下と雇用劣化に逆戻りすることを防がなければならない」と強調し、「すべての働く仲間の処遇を働き方の価値に見合った水準へと引き上げ、雇用の維持・創出に向けて闘い抜こう」と呼びかけた。

この後友好政党・団体から立憲民主党青森県総支部連合会升田世喜男代表代行、青森県民社協会

一戸富美雄会長がそれぞれの立場から激励のあいさつを述べた。

続いて連合青森山内裕幸事務局長が連合青森の要求提出状況(3月1日現在)187組合中12組合・要求額4,348円などの情勢報告を行った。

次に政労連青森地区連絡会議佐藤美也子事務局長、J P 労組青森連絡協議会飯田孝一副議長、連合青森上十三地協原浩輔事務局長が決意表明を行った。

集会最後、「賃金カーブ維持相当分3,600円(2%程度)を確保し、賃上げ4,600円程度(2%)と格差是正分2,300円(1%)を要求する」「すべての労働者に『人への投資』こそが職場、企業、日本の未来を創る。断固たる決意をもって最後まで闘おう」とする集会アピールを採択し、最後に塩谷会長の団結ガンバローで集会を締めくくった。



『東日本大震災』から10年、振り返り、風化させず、次世代へつなぐ

3. 11を忘れない“絆”集会

未曾有の災害で多くの方が犠牲になられた「東日本大震災」発災から今年で10年となる。

連合青森は3月6日(土)、午前11時30分から青森市のリンクステーションホール青森にて「3.11を忘れない“絆”集会」を開催し、あの未曾有の惨事を振り返り、風化させることなく次世代へつなぐ役割・義務を確認した。

集いには組合員200名が参加し、冒頭、犠牲者の冥福を祈り黙とうを捧げることから始まった。

主催者あいさつに立った連合青森塩谷進会長は自らボランティア活動をした経緯に触れるとともに、「私たちはこの惨事を風化させることなく、いち早い復興を意識しながら、労働組合のスケールメリットを生かし社会的価値ある取り組みを継続していかなければいけない」と語り、その後、津波で甚大な被害を受けた地域の様子や連合青森が取り組んだボランティア活動等の記録DVDを視聴した。

次に八戸市において職場が被災した電力総連出身の組織内議員・高橋貴之八戸市議より「被災・復興した八戸市」と題し語っていただいた。

高橋議員はまず「絆という字は馬や犬などを繋ぎ止める綱から、人と人を離れがたくする結びつきを表すようになった」と絆という字の語源について語った。続いて八戸市の状況においては「被害総額は市の年間予算とほぼ同額の1,200億円、



犠牲者の冥福を祈り
黙とうを捧げる



元気を取戻して初めて真の復興といえる。と語る高橋市議

復興事業は現段階で365事業中227事業が完了している」と報告した後、「どの状況になれば復興したと言えるのか。線引きは非常に難しい」と疑問を投げかけた。「道路や建物が復興してもそこに居る人が元気を取り戻さなければ真の復興とは言えない。震災以降“絆”という言葉通り、寄り添い助け合って歩みを進めてきたが、このコロナ禍で三密回避・ソーシャルディスタンス・SNSでの誹謗中傷など、危機を乗り切った武器“絆”は封じこめられつつある。物理的につなぐ“絆”から心と心をつなぐ“絆”が今、最も重要ではないかと感じている」と強調した。



誰もが「自分らしく」輝ける、多様性のある男女平等参画社会に！

「3.8国際女性デー」街頭行動

連合青森女性委員会(東出るり子委員長)と青年委員会(宮田慶輝委員長)は3月6日(土)15時より、青森市のさくら野百貨店前で「3.8国際女性デー」街頭行動を行った。

世界経済フォーラム発表の国際的男女間格差を示すグローバル・ギャップ指数で日本は153か国中121位(前年149か国中110位)と諸外国に比べ低水準に位置し、先進国では最下位となっている。また新型コロナウイルス拡大により雇用喪失、育児・介護等無償労働の負担増、ドメスティック・バイオレンスなど女性へ与える影響は大きくなっている。

女性委員会は街頭にて「雇用における男女平等、均等待遇の実現、固定的性別役割分担意識の払拭に一層取り組み、2021春季生活闘争を通じ男女間の賃金格差是正、あらゆるハラスメントの根絶に取り組みます。一人ひとりの行動で、すべての人たちが性別にかかわらず人権が保障され、平等に安心して暮らせる社会を共に目指しましょう」と道行く市民に呼びかけた。

「3.8国際女性デー」は、1857年にニューヨークで起きた工場火災で、多くの女性たちが亡く



人権が保障される社会を。と呼びかける女性委員会の皆さん



バラのグッズを手渡す青年委員会の皆さん

なったことを受け、3月8日に低賃金・長時間労働に抗議する集会が開かれたことが起源であり、その後、国連においてこの日は、「女性の権利と平等のために闘う記念日」と位置付けられ、賃金・労働条件の向上を表す「パン」と、女性の尊厳、人権の確保を表す「バラ」をシンボルに、今も世界各国で様々な行動が展開されている。



連合では毎月5日を『連合の日』と設定し、組織活動の活性化をはかり運動の輪・信頼の輪を広げるべく各種取り組みを行うこととしている。

連合青森も本部方針を受け、『連合の日』について5日を中心に街宣行動に取り組み、連合青森として抱える課題の共有化、各産別・産業にある現状課題を県民に対し、広く訴えていくこととした。

2月の取り組みは24日・25日の2日間行われる、連合全国一斉集中労働相談ダイヤル開設を周知し、3月の取り組みは3月6日の「36の日」に合わせ、適切な「36協定」締結の呼びかけ、また春季生活闘争の現段階での状況を周知する街頭行動となった。



2月連合の日。立憲民主党県連升田世喜男代表代行も参加



3月連合の日。高橋博幸副会長も参加

来年につながる積み上げの闘いを！

2021地場労組交流の集い

連合青森地場労組対策委員会(関保委員長)は2月26日(金)、青森市の県労働福祉会館にて「今年もガンバル！2021地場労組交流の集い」を開催し、地場労組対策委員や地場組合員ら24名が参加し、2021春季生活闘争の奮闘を誓い合った。

地場労組対策委員会斉藤隆太副委員長は「コロナ発生から1年。この間、組合活動も制限され十分な活動が出来なかったのではないかと。しかし春闘は組合活動の中で重要な位置付け。厳しい環境下で厳しい交渉が予想されるが、労働組合の力を発揮し、組合員の安心・安定のために粘り強く闘おう」と挨拶した。

続いて連合青森塩谷進会長は「春闘は0か1かの闘いではなく積み上げの闘い。今春闘で実現しなくても来年につながる運動を実現しよう」と激励した。

次に連合青森山内裕幸事務局長より2021春季生活闘争方針について説明がされ、続いて連合総合政策推進局・労働条件局の藤川慎一局長より「コロナ禍における労使交渉の進め方」と題し、WE



厳しい環境下だが粘り強く、と挨拶する斉藤副委員長。



意見交換の様子。

Bにて講演頂いた。藤川局長は「コロナ禍において格差は更に拡大している。企業規模間や雇用形態間、男女間格差などは正するには目標水準の明確化、昇給ルールの導入が必要であり、その根拠資料作成には個別賃金の把握が重要」と述べた。

第2部の意見交換に移り、コロナによる影響や要求書の進捗状況、付帯要求内容など各組合が抱える課題を中心に意見交換がされた。

ちょっと待った！その解雇・雇止め

連合労働相談ホットライン

連合には毎日数多くの相談が寄せられている。今回は労働契約の更新時期を迎える年度末を前に全国一斉集中労働相談ダイヤルを開設した。連合青森も「ちょっと待った！その解雇・雇止め」と題し、2月24日(水)と25日(木)の2日間実施した。

相談件数は全国で電話相談532件、LINE相談116件。連合青森には6件寄せられ、内訳は正社員5、パート労働者1件、性別では男性4、女性2件、内容は「差別等」「解雇・退職関係」が各2件、「有給休暇」「その他」が各1件となっている。

<相談事例(抜粋)>

◆介護施設の運転手。2/20に3/末で退職届を提出するよう言われ、仕方なく退職届を提出。理由は運転中、一時停止しない等、他。退職届の取り

下げは、ワンマンな社長のため言い出せない。施設内に相談できる人もいない。退職勧奨・強要になるのではないか。(男性・正社員・医療/福祉)

◆1年契約で勤務。副店長のハラスメントにより突発性障害を発症し治療中。3月末の契約更新について「病気療養で要員にならないので契約更新はしない」との連絡があった。上部に言うべきか。どうしたら良いか。(女性・パート・サービス)

◆公的医療機関の助産師。介護中の父親の容態が急変したため急遽、年休を申請したところ介護休暇(無給)だと言われた。最低5日の年休消化はしたものの、祝日も働さばなしで頑張っているのにたった1日の休暇も認められない。年休扱いではダメなのか。(女性・正社員・医療/福祉)

新たな取り組みとともに1年の活動をスタート！

連合青森青年委員会第31回総会

連合青森青年委員会（宮田慶輝委員長）は2月11日（木）10時30分から青森県労働福祉会館にて「第31回総会」を開催し、代議員21名出席のもと、向こう一年間の活動方針を決定した。

来賓あいさつに立った連合青森山内裕幸事務局長は、青年活動に対する激励とともに、ファイティングフォーラムが中止となったことを受け、春季生活闘争の重要性と青年層の参画を求めた。

昨年の青年活動は、新型コロナウイルスの影響でメインイベントであるユースラリーも中止となる中、青年委員会では自ら出来る活動を課題整理し、来期に向けた具体的施策の検討を行ってきた。この検討で得られた新たな取り組みを活動方針にプラスし、これまで手当してこなかった活動の不足点を補い、活性化を図ることとした。

青年委員会では自分たちの活動の目的について『①加盟組織の横断的な連帯感醸成』と『②青年委員会役員スキルアップ』の2点と解釈し、これらに基づいた活動を展開することとしている。達成する上で、①においては構成組織に対する情報発信や周知、あるいは情報そのものの魅力など横の繋がりを形成する上で不足している点が課題として挙げられ、ニーズ把握のためのアンケートやSNSによる情報発信を行う予定である。②としては役員のコミュニケーションスキル、プレゼンスキルの不足を自覚しており、これらを養う学習を取り入れ、積極的に実践することとしている。



活動の不足点を補い活性化を図る。とした第31回総会



2021年度新役員の皆さん

また活動そのものの在り方についても検討をし、各地域協議会や構成組織の青年活動との差別化を図り、『連合青森だからこそできる活動』という視点で今後の行事を検討していくこととした。

総会で選出された2021年度役員は次の通り。

委員長	宮田 慶輝	（情報労連）
副委員長	田中 拓也	（自治労）
〃	米田 裕哉	（J P 労組）
事務局長	高谷 宏慈	（電力総連）
幹 事	工藤 真人	（U A ゼンセン）
〃	吉田 俊介	（自治労）
〃	橋本 純輝	（J P 労組）
〃	蝦名 晃弥	（運輸労連）
〃	高橋 健太	（情報労連）
〃	長内 勇也	（J R 総連）
〃	熊沢 徹	（自治労連）

ワークルール検定 2021・春(初級)

<後援>厚生労働省
日本生産性本部



2021年6月13日（日）11:00～11:45

■会 場：青森県労働福祉会館4階 大会議室
（青森市本町3-3-11）

■募集人員：60名

■募集期間：2021年5月10日（月）まで

～職場で役立つ法律知識を身につけられます！～

※申込み・詳細は連合青森(017-735-0551)またはウェブサイト(<http://workrule-kentei.jp>)へ

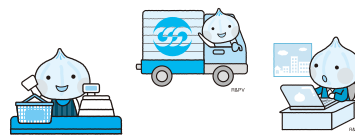
一般社団法人 日本ワークルール検定協会



第92回メーデー青森県中央祭典

とき 4月29日(木・祝) 10時25分

ところ 青森市「青森市民ホール」



スローガン

**今こそ心をひとつに！働く仲間の笑顔のために
感謝と思いやりの絆をつなぎ 希望あふれる未来を切り拓こう！**

働くものの祭典、第92回メーデーは青森県中央祭典をはじめ、各地協主催で4月29日に開催されます。今年のメーデー青森県中央祭典は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、開催規模を500名に縮小し、時間短縮、例年実施している抽選会を中止した上で開催いたします。

皆様のご理解を宜しくお願いいたします。

各地区の開催日程

主催	日時	場所	内容
連合青森、東青地協	4月29日(木・祝)10時25分	青森市「青森市民ホール」	式典
三八地協	4月29日(木・祝)10時30分	八戸市「YSアリーナ・駐車場」	集会
津軽地協	4月29日(木・祝)13時00分	弘前市「弘前パークホテル」	集会
上十三地協	4月29日(木・祝)10時00分	十和田市「オランドーム」	集会
西北五地協	4月29日(木・祝)10時30分	五所川原市「オルテンシア」	集会
下北地協	4月29日(木・祝)11時00分	むつ市「まさかりプラザイベント広場」	集会

2021年3月行動予定 3月10日現在

- 3月10日(水)13時30分 ホテル青森
「2021春季生活闘争労使交渉懇談会」
- 3月11日(木)9時30分 県庁・青森労働局
「雇用の維持と安定化要請」
- 3月11日(木)10時30分 青森労働局
「2021労働局行政に関する要請」
- 3月13日(土)14時 青森市はまなす会館
「第1回青年委員会幹事会」
- 3月18日(木)13時30分 県労働福祉会館
「第13回三役会議」
- 3月18日(木)上記終了後 県労働福祉会館
「第3回戦術会議」
- 3月18日(木)14時 県労働福祉会館
「第1回報酬審議会」
- 3月19日(金)15時30分 県労働福祉会館
「第1回資源エネルギー政策部会」

- 3月22日(月)10時 県庁
「新型コロナウイルス感染症対策に関する要請」
- 3月25日(木)13時30分 県労働福祉会館
「第3回闘争委員会」
- 3月25日(木)上記終了後 県労働福祉会館
「第15回執行委員会」

2021年4月行動予定

- 4月5日(月)11時30分 さくら野青森店前
「連合の日街宣行動」
- 4月8日(木)10時30分 県労働福祉会館
「第3回地場労組対策委員会」
- 4月8日(木)13時30分 県労働福祉会館
「第1回共通政策部会」
- 4月9日(金)13時30分 県労働福祉会館
「第1回フェアワーク推進会議」